

医療ボランティアでの実例に即した薬学的英語教育に関する研究のお知らせ

帝京大学薬学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023年12月23日～2026年3月31日

〔研究課題〕 医療ボランティアでの実例に即した薬学的英語教育の実践

〔研究目的〕

申請者は、2020年に新型コロナウイルスの集団感染が発生した国際クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」にて医療ボランティアを行った際、服薬指導を英語で行いました。AI技術による翻訳ソフト等が開発されていますが、医薬品を提供する責任者として、AI技術に頼るだけではなく、必要最低限の英語スキルを身につける必要があると感じました。そこで、医療ボランティアでの実例を用いた薬学的英語演習を行い、その教育効果を測定します。

〔研究意義〕

この教育方法を調査することにより、薬学生に対する薬物治療学および英語教育のさらなる充実を目指します。

〔対象・研究方法〕

2023年度に薬学部2年次科目、2023年6月23日の医療コミュニケーション1を受講した学生全員を対象とします。医療ボランティアでの実例に即した課題を用いた演習の前後で実施したアンケート調査および課題の記録、宿題を用いて、知識や意識変化があったかなど統計的手法を用いて解析します。解析するデータは個人がわからないように加工します。調査協力の有無が、成績の評価には反映しません。

〔研究機関名〕

帝京大学 薬学部

〔個人情報の取り扱い〕

情報は適切に管理し、個人情報を保護します。解析結果と調査研究以外で使用いたしません。また、解析結果は成績に反映しません。研究終了後、10年間情報管理者が鍵のかかるキャビネットに保管した後、廃棄いたします。

対象となる学生で、ご自身の調査結果やアンケート結果の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 日下部 吉男（講師）
研究分担者： 中村 康宏（助手）
所属： 帝京大学薬学部 薬物治療学研究室、薬学実習推進研究センター
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-8192